

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1045 林業振興経費	会計	01	一般会計
		款	06	農林業費
		項	02	林業費
基本 施策	42 持続的で個性的な農林業を実践する	目	02	林業振興費
		細目	320	林業振興経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	51	林業振興経費
担当部課	コード	700100		担当者 氏名
	名称	大山田支所振興課		
		連絡先	安岡健司 47 - 1157 (内線)	

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	森林及びその所有者	※対象件数
成果(どうする)	森林巡視業務により、林道の現況把握や保安全管理を行うことができ、さらに災害等による通行障害に対し早期に対応できる。	
根拠法令・要綱等	支所関係補助金等交付要綱	
開始年度	昭和 50 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	森林保全業務及び大山田連絡所維持管理の経費を下記のとおり支出した。 ・森林管理巡視業務委託料:367,500円 委託内容:大山田管内の林道を定期的に巡視し、適正な維持管理に役立てる。 伊賀森林組合助成金: 486,000円 助成内容:大山田作業所の運営、維持管理のための助成。	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
森林巡視		回	目標	16	目標	16
			実績	18	実績	16
事務所開設日数		日	目標	245	目標	245
			実績	245	実績	245

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
巡視による路肩崩落等の通行障害や不法投棄の報告回数			回	目標	15	目標	20
				実績	36	実績	32
造林事業等相談、林業経営相談、環境創造事業相談の開催		相談会を開催し専門知識・技術を付与し森林の適正な管理や林業の振興を図る。	回	目標	16	目標	16
				実績	16	実績	16

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
直接事業費計(A)	897	863			908		908	
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	897	863	908	908				
事業投入人件費(B)	0.2人	1,440	0.2人	1,440	0.1人	720	0.1人	720
フルコスト(A)+(B)	2,337	2,303	1,628	1,628				

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。	
	予算の繰越の有無 無	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	危険箇所を早期発見するため巡視回数を増やすことが必要。しかし、現状の回数で行わなければならないのであれば、台風など荒天時に集中して巡視を行うようバランスを考える。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 定期的に巡視を行なうことができた。さらに台風前、台風後など集中して巡視できた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	土永瑞穂
【方向性】	現状維持
【理由】	大山田は伊賀市においても特に林業の盛んな地域であり、今後も地域林業に精通した森林組合が専門知識・技術を付与することで林業後継者者育成・森林の適正管理が図れ、当地域の林業振興につなげていきたい。
現時点における課題、その他	森林組合の助成金のあり方について、見直しを行うよう財政課及び総務課より指示を受けている。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	平成22年度中に森林組合助成金のあり方について本庁と検討する。